

とちぎ訪問看護ステーション たかねざわ

高根沢町大字宝積寺2426番地8 パークタウン高根沢104



管理者
藤田 みかる 様
利用保険割合
医療保険…3割
介護保険…7割

県北地域では唯一の機能強化型訪問看護ステーションI型として、地域の多職種との連携や、広く住民を対象とした看取りの普及啓発を行うなど、幅広く活躍される姿が印象に残りました。看取りを数多く経験されている訪問看護師さんの寸劇は説得力もあり、勉強になりそうです。(記者より)

施設のアピール

とちぎ訪問看護ステーションたかねざわは、栃木県看護協会が運営する機能強化型I*のステーションで、スタッフは管理者も含めて14名です。看取りはもちろん高度な医療を要する方、精神、小児などの患者さんを受け入れています。訪問地域は高根沢町を拠点にさくら市・宇都宮市・那須烏山市・芳賀町・市貝町など幅広く支援しています。

*機能強化型訪問看護ステーションとは、ターミナルケアの実施や症児の受け入れなどを積極的に行つ24時間対応可能なステーションです。



スタッフさん作のかわいいイラストで、訪問提供地域が広いことがわかりますね。



お看取りのパンフレットはご家族にもわかりやすいと言われるそうです。

連携している主な医療機関

NHO宇都宮病院、芳賀赤十字病院、済生会宇都宮病院、自治医科大学附属病院、黒須病院、阿久津医院、松谷胃腸科クリニック、倉持医院、高安医院などの医療機関と連携しています。

施設の役割や特徴について

〜看取りを支える訪問看護〜

初めて自宅で看取りを経験する家族は、様々な不安を抱えています。そんな家族のために、パンフレット(写真左)を作り、「最後はこんなふうな状態が変化するということを説明し、できるだけ不安を解消できるように支援します。たまに来る親戚に「なんでこんなに具合が悪いのに入院させないんだ。」と家族が責められてしまふことがありますが、このパンフレットを見せて親戚に納得してもらえた、ということもありました。

心に残ったエピソード

〜多職種で支える看取り〜

本人と家族の意思決定があれば、独居の方も自宅で看取ることがあります。独居の方の場合は、最初に発見するのがヘルパーさんになることが想定されたので、発見したときはどこにどう電話するかなど、あらかじめシミュレーションしてみんなで共有しました。私たちは独居の方でも老々介護の方でも自宅での看取りが実現できるように取組んでいます。

また、末期がんで麻薬による疼痛コントロールが必要な方の看取りでは、あるかかりつけ医師と密な連携を取ったことが印象に残っています。当時、その先生は麻薬による疼痛コントロールに消極的な所がありました。それでも患者さんの思いを受け止め、試行錯誤しながら診療されています。時には先生から私たちに相談されることもあり、一緒に考えながら支援しました。その方は無事に自宅で看取ることができ、先生からは「勉強になった。次もお願ひします。」と信頼を強めることができました。どんな事例でも連携は大切ですね。

看取りのことを、住民に知ってもらうため、訪問看護協議会で寸劇をしたこともありました。いろいろな職種の方を巻き込んで、もっと自宅での看取りを広げていきたいと思っています。

ケアマネジャーとの連携で

思いごと

本人が最後は自分らしく自宅で過ごしたいと思つていても、家族は心配なので病院や施設を希望することが少なくありません。そんな意思決定の場面では、ケアマネジャーの関わりも大切だと思います。

看取りの経験が少ないケアマネジャーの中には、自宅での看取りに慎重な方もいます。まずは、本人や家族の気持ちも受け止め、様々なサービスの利用で自宅での看取りも選択肢のひとつと捉え、家族や本人に寄り添い支えていってほしいと思います。お悩みの事例が有りましたら訪問看護師にご相談下さい。お話を聞きに伺うこともできます。一緒に考えていきましょう。



スタッフのみなさんです。